

【平成27年度に取り組んだ献血推進事業】

(岡山県)ライオンズクラブと赤十字血液センターとの連携協定

【1目的】

ライオンズクラブと赤十字血液センターが相互に連携することで、献血推進活動が一層地域と結びつき、活発になる。そして、厚生労働省が掲げた「献血推進に係る新たな中期目標～献血推進2020～」を主軸とした献血推進活動を実現する。

【2内容】

「ライオンズクラブ国際協会336-B地区」と「赤十字血液センター」との協定締結式、献血協力団体によるアトラクションを実施

【3実施日・場所】・・・平成27年7月3日(金)・イオンモール岡山1階 未来スクエア

【4対象者】

ライオンズクラブ国際協会336-B地区、岡山県・鳥取県赤十字血液センター、イオン来場者

【5実施手順】

1. 血液センター内部、ライオンズ336-B地区内の血液センターとの調整
2. 次期ガバナー、キャビネット事務局との調整
3. 本社、ブロック、県、支部との調整
4. 式典会場(イオンモール岡山)との調整、マスコミ広報等



【6実施に際して苦労したこと】標記協定は前例がないため、全てにおいてゼロからの企画が必要

【7予算額】・・・30万円:会場費等(県・支部・センター:20万円、ライオンズクラブ10万円)

【8来場者】・・・約1,000人

【9効果(評価)】・・・連携協定締結により、多くのクラブが献血を主要アクティビティと位置づけ、より一層の献血協力が得られるようになり、ライオンズクラブ国際協会336-B地区内のほとんどのクラブから協力が得られた(70/75)

【10改善点(又は問題点又は反省点)】・・・特筆事項なし

【11今後の課題(又は今後の対応方針)】・・・ライオンズクラブとの関係維持

【12 その他】平成27年度献血協力人数7,939人

【平成27年度に取り組んだ献血推進事業】 （岡山県）赤十字出前講座「献血セミナー」の実施

【1目的】

県民に、もっと献血を知ってもらい、身近に感じてもらおうと、出前講座として『献血セミナー』を行っている。輸血や献血の重要性について、わかりやすく学び、献血をはじめとする赤十字諸活動への理解及び実践等、ボランティア思想を普及することを目的としている。

【2内容】

献血の必要性、献血の意義について、DVD放映

【3実施日場所】

平成27年4月～平成28年3月末、県内

【4対象者】

1. ライオンズクラブ国際協会336-B地区
2. 国際ロータリー第2690地区
3. 県内高校・大学・専門学校等

【5実施手順】

申請書を受け実施調整。

高校へは教育委員会を通じ、意向アンケートを実施。

【6実施に際して苦労したこと】

日程調整、職員派遣の調整

【7予算額】

・・・140万円（セミナー参加記念品経費）

【8実施対象者】

・・・8,664人（116回）

【9効果（評価）】

・・・献血セミナーの実施回数（年間）を増加させることで献血の周知度があがり、献血に係る新たな中期目標「献血推進2020」の目標達成ができる。

【10改善点（又は問題点又は反省点）】

・・・新たな実施団体の確保にかかる啓発活動

【11今後の課題（又は今後の対応方針）】

献血の大切さが分かりやすくより魅力ある講座の実施



【平成28年度に取組予定の献血推進事業】 （岡山県）献血ルームの献血推進

【1目的】・・・固定施設の献血実施計画達成

【2予定内容】・・・対前年比：献血ルームうらら110.2%、献血ルームももたろう104.6%

【3実施日・場所(予定)】・・・通年、献血ルームうらら・献血ルームももたろう

【4対象者】・・・岡山県民

【5昨年度実績】・・・献血者数：献血ルームうらら13,940人、献血ルームももたろう22,402人

【6実施手順】・・・

- ①血液センターの愛称を「献血ルームうらら」とし、県民への周知度をあげる
- ②献血ルームでのキャンペーンの充実を図り献血参加へのきっかけを作る
- ③ライオンズクラブ、ロータリークラブ、企業、各種団体の献血WEEKの充実
- ④企業等からの送迎、献血招待状活用
- ⑤周辺大学等への渉外、部活動・サークルへの協力依頼等
- ⑥メール、はがき、電話依頼
- ⑦受付作成の不足時ドナーリストの作成等

【7予算額】・・・823,200円(キャンペーン用チラシ、処遇品等)

【8目標(効果)】・・・献血者数：献血ルームうらら15,355人、献血ルームももたろう23,432人

【9実施に向けた課題】・・・献血ルームうららでは400mL献血を153.2%、PPPを141.5%
献血ルームももたろうではPPPを191.5%にする(対前年比)

【平成28年度に取組予定の献血推進事業】

(岡山県) 献血推進動画の作成 みんなのおかやま犬 ～献血に行こう～編



献血に行こう!

岡山県 みんなのおかやま犬

【1目的】……若者へ向けて、効果的に県政情報を発信するため、県政の重要な施策や課題などをテーマに、親しみやすいアニメ「みんなのおかやま犬」による広報動画を制作し、配信する。(年間5本制作のうち、1本で、「献血」の啓発動画を作成)

【2予定内容】……県政広報アニメの制作及びインターネット配信

【3実施日・場所(予定)】……H28.7.1 You Tubeで配信

H28.7.1 愛の血液助け合い運動月間初日事業
(献血ルームももたろう前で動画の公開
及びキャラクターを活用したチラシの配布)

H28.8.8 献血感謝のつどい(開会前に動画を映写)

【4対象者】……主に若年層をターゲット

【5昨年度実績】……なし

【6実施手順】……①岡山県学生献血推進連盟との意見交換等
②動画PRチラシの作成

【7予算額】……5,761千円(うち、献血編制作・広報費約800千円)

【8目標(効果)】……インターネット動画視聴回数 約2万回

【9実施に向けた課題】……若年層の意見を取り入れた動画とする
若年層を中心とした県民への周知

届けよう そのやさしさを 献血で



7月・8月は「岡山県 愛の血液助け合い運動」月間

県民の皆様へ

献血事業の推進につきましては、平素から御協力と御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
岡山県では、7月・8月の2か月を「岡山県愛の血液助け合い運動」月間と定め、広く県民の皆様へ献血の必要性を御説明いたすとともに、輸血を受ける患者さんへの負担を少しでも減らし、安全性をより高める640mL献血・成分献血の推進に取り組みしていくこととしております。
皆様方におかれましては、愛と感謝の献血運動の趣意を十分に御理解いただき、是非この機会に献血に御協力くださいますようお願いいたします。

平成28年7月1日

岡山県献血推進連盟
会長 伊藤木 隆太



岡山県学生献血推進連盟「S. B. D. Momo」からのメッセージ!!

私たち岡山県学生献血推進連盟は、10代～30代の献血者が集まっている現状を知り、若年層の献血者を少しでも増やすために、岡山県や献血ルームで学校ごとにキャンペーンをしています。新しい連盟を月に一度の定例会で交流し合い、次のイベントに活かす工夫をしています。
また、献血が毎年継続に満たない子どもたちへの献血啓蒙の普及のために、キッズ献血を行い、献血の手帳やその重要性を伝える活動もしています。
血液を提供していただくドナー、ボランティア、輸血用血液製剤をつくり医療機関へ運ぶ職員、輸血を行う病院の医師の「リレー」によって、人の命が繋がります。
献血へのご賛同をお願いします!



平成28年7月1日

岡山県学生献血推進連盟「S.B.D.Momo」

みんなのおかやま犬

検索

